



2020年1月21日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄
経 営 管 理 本 部 長
(TEL. 03-6222-9547)

MabGenesis 株式会社とのがん細胞殺傷効果を有する 新たな抗体の取得を目的とした共同研究契約締結のお知らせ

この度、当社は、MabGenesis 株式会社とがん細胞殺傷効果を有する抗体取得及び特許出願に向けて、共同研究契約（以下、「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本契約締結の目的及び理由

当社は、2018年度より新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。本契約は、将来の成長ドライバーであるバイオ新薬事業の新たなパイプラインを拡充するものであります。

がん治療薬は、従来の低分子治療薬に加えて抗体医薬や抗体薬物複合体の出現により、奏効率が向上しております。さらに、オプジーボ等新しい分子作用機序を持つ抗体医薬の出現により、これまで治療が不可能と考えられていた患者への福音となっております。その一方で、これらの治療薬でも奏効しない患者も多数存在します。また、患者数が少ない希少がんや難治性がんでは、経済的な理由から治療薬の開発がほとんど行われていない状況もあり、新しい癌治療薬の開発は必須であります。

MabGenesis 株式会社は、宮崎大学の森下和広教授と藤田医科大学の黒澤仁講師が保有する革新的かつ独創的な抗体単離技術を使って、First-in-class、Best-in-class のモノクローナル抗体取得を目指すバイオベンチャー企業です。当社はこの技術に着目し、がん細胞表面に発現する特異的な抗原に対して特異的に且つ強固に結合するモノクローナル抗体の取得を行い、希少がんや難治性がんに対する新しい作用機序を持つがん治療薬の開発を進める目的で共同研究契約を締結いたしました。

当社は、本開発品をバイオ新薬事業の新たなパイプラインとして加え、将来における新たな収益源の確保に努めると共に、新たながん治療薬の開発による社会貢献をとおして当社の企業価値向上を加速させ、当社が掲げる GTS3.0 の早期実現を目指してまいります。

2. 本契約の内容

癌細胞の表面に発現する抗原に対するモノクローナル抗体取得を目的とする共同研究契約

3. 本契約の相手先の概要

(1) 名称	MabGenesis 株式会社	
(2) 代表者	代表取締役 新庄 勝浩	
(3) 所在地	東京都中央区日本橋本町1丁目4番地	
(4) 設立年月日	2019年6月3日	
(5) 事業内容	医薬品の研究開発	
(6) 資本金	2,175万円	
(7) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 1. 大株主及び持株比率は相手先の要請により非開示としております。

2. 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態につきましては、設立後1年未満であるため記載していません。

4. 今後の見通し

本件に伴う2020年3月期の業績への影響は軽微の見通しです。

以 上